

1. 評価結果概要表

作成日 2009年6月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2671200331
法人名	社会福祉法人 宇治明星園
事業所名	グループホームなごみの里伊勢田
所在地	〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町毛語45番地 (電話) 0774-41-5355

評価機関名	社団法人京都ボランティア協会		
所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上ル海渡町83-1 ひと・まち交流館 京都1階		
訪問調査日	平成21年5月11日	評価確定日	平成21年6月30日

【情報提供票より】(平成21年4月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 10 月 27 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤 2 人, 非常勤 8 人, 常勤換算	6.8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造
	2階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,500 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有()	〇無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または 1日あたり		円	

(4) 利用者の概要(3 月 2 日現在)

利用者人数	6 名	男性	1 名	女性	5 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.1 歳	最低	73 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	宇治おうばく病院 小杉歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

宇治市南部の古くからの住宅地に、築70年の民家を改修しているホームである。ホームの前は小学生の通学路になっており、下校時などに子どもたちの元気な声が聞こえる。地域住民の「グループホームを立ち上げる会」により開設されたものであるが、住民の中には理解が得られない人もあり、説明会を何度も開催している。「地域に開かれた、知己に根ざした、地域住民に支えられた施設づくり」が法人の設立精神であり、地域との関係については地道に努力が続いており、避難訓練、ボランティア参加、喫茶サロンなどを通じて来訪者もある。家族の会が発足しており、家族交流も進んでいる。20歳代から70歳代までの職員は利用者本位が徹底している。若い女性管理者は明るく、パワーがあり、認知症理解がある。運営会議、ケース会議、勉強会を毎月の職員会議で実施しており、予め議題に沿って職員に意見を書いて提出してもらい、会議に臨んでいる。利用者にはていねいに対応しており、利用者からの信頼がある。利用者はお正月には着物を着て、書初めやカルタを楽しみ、節分には巻き寿司を巻き、お彼岸にはおはぎをつくるなど、季節ごとの楽しみが多く、和風住宅のもつ大きな力もあり、認知症の維持が見られる。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘された点として、センター方式を取り入れたアセスメントを実施すること、ケース記録の書き方を工夫していることなどが改善されている。また地域との連携を強めていくことは開設以来の課題であり、地域の夏祭りには参加だけでなく、実行委員としても関わるなどが改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は職員に配布し、一人ひとりに記入してもらい、管理者がまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	利用者、家族、民生委員、地域包括支援センター職員等がメンバーとなり、開催され、記録が残されている。宇治市女性消防団の人に来てもらい、火災に関する研修、夜間想定避難訓練を実施し、利用者にも親しみやすく、わかりやすい内容であった。開催頻度が少ないので、隔月に実施することが期待される。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	年に4回家族の会を開催しており、少ないときでも半数以上の参加者がある。喫茶を楽しんだり、クリスマス会は鍋を囲んで食事している。ホームのお出かけに同行されるときもある。家族同士の交流が進んでおり、気軽に意見を出されている。利用者の暮らしがわからないとの声により、ビデオを撮ってみてもらっている。また職員異動を知らなかったなどの声もあったので、玄関に職員の顔写真と名前を書いて掲示するようにしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、ホームの行事などを回覧板でまわしてもらえ。公民館で開催される学区福祉員主催の高齢者会食会に参加したり、保育園のもちつき、運動会、発表会などを見に行っている。小学校の運動会や音楽会を見に行き、ホームで育てた苗をあげたり、小学生が遊びに来てくれるなどの交流も続いている。語り部サークルや民生委員のボランティアも定期的に来訪してくれる。喫茶サロンを開き、地域の人に来てもらっている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	なごみの里伊勢田のケア理念として一人ひとりの尊重、居心地の良い雰囲気、できること、したいことを支援、地域とのふれあい、家族との協力等の5項目が決められている。これは開設時に職員が話しあって決めたものである。パンフレットに明記し、地域の人にも理解を図っており、ホーム内にも掲示している。毎年職員が話し合って事業計画を作成しており、理念とともに家族にも説明している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を認識し、日常の業務のなかでそれぞれが工夫して、理念の具現化に取り組んでいる。利用者本位の暮らし、利用者へここが居場所だと思ってもらえるようにしたいと、努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、ホームの行事などを回覧板でまわしてもらえたり、公民館で開催される学区福祉員主催の高齢者会食会に参加したり、保育園のもちつき、運動会、発表会などを見に行っている。小学校的運動会や音楽会を見に行き、ホームで育てた苗をあげたり、小学生が遊びに来てくれるなどの交流も続いている。語り部サークルや民生委員のボランティアも定期的に来訪してくれる。喫茶サロンを開き、地域の人に来てもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は職員に配布し、一人ひとりに記入してもらい、管理者がまとめている。前回の評価で指摘された点として、センター方式を取り入れたアセスメントを実施すること、ケース記録の書き方を工夫していることなどが改善されている。また地域との連携を強めていくことは開設以来の課題であり、地域の夏祭りには参加だけでなく、実行委員としても関わるなどが改善されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、家族、民生委員、地域包括支援センター職員等がメンバーとなり、開催され、記録が残されている。宇治市女性消防団の人に来てもらい、火災に関する研修、夜間想定避難訓練を実施し、研修は利用者にも親しみやすくわかりやすい内容であった。開催頻度は少ない。	○	運営推進会議は隔月に実施することが決められており、事業所にとって応援団として機能してもらえるので、幅広い内容で、隔月に開催することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	宇治市は運営推進会議にも参加されず、連携は弱い。認知症や介護相談等の研修を地域で行うこともないようである。	○	事業所がもっている専門性を地域の住民に還元するような取り組み、例えば認知症研修、福祉用具説明会、介護相談などを、宇治市と共催で地域住民にたいして実施するなどが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会は毎週来る人から年に3～4回の人までいろいろだが、面会のときには情報交換している。利用者を散歩に連れ出してもらっている。また毎月管理者が利用者のその月の様子を書いた手紙を郵送しており、家族に喜ばれている。「長寿を祝う集い」の時には家族から利用者に向けて手紙を書いてもらい、感動の場面もあった。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に4回家族の会を開催しており、少ないときでも半数以上の参加者がある。喫茶を楽しんだり、クリスマス会は鍋を囲んで食事している。ホームのお出かけに同行されるときもある。家族同士の交流が進んでおり、気軽に意見を出されている。利用者の暮らしがわからないとの声により、ビデオを撮ってみてもらっている。また職員異動を知らなかったなどの声もあったので、玄関に職員の顔写真と名前を書いて掲示するようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	個人的な理由ではあるが管理者の交代などがあり、利用者とはお別れ会などを行っている。引継ぎは重複勤務で行っている。グループホームでのなじみの関係を重視し、安易な異動はおこなわれない。また働きやすい職場をめざして、管理者は職員の話をよく聞き、シフトの希望を聞いたり、懇親会などを実施している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年は職員体制が落ち着かず、外部研修などの参加ができていない。内部研修は毎年計画を作成し、実施している。認知症の実践者研修、身体拘束、高齢者虐待、感染症、ケース記録の書き方、認知症の周辺症状について等のテーマが受講されている。資格取得のための支援も行っている。また一人ひとりの職員に毎年の目標を自己申告してもらい、支援している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	宇治市の介護相談員を受け入れており、介護相談員連絡会が開催されるときには管理者が参加している。職員が他のグループホームと見学・交流することは取り組まれていない。	○	管理者のみならず職員も、他のグループホームを見学したり、職員同士の交流をすることは、当ホームのサービスの質の向上にとって大きなメリットがあるので、実施することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族には見学に来てもらうことをお願いしており、家族とともに見学にこられている。ためし利用もされており、宿泊のためし利用にも希望があれば応じている。利用が始まってなかなか馴染むまではかかるが、家で使っておられたものをもってきてもらうこと、家族にも来訪してもらうことを勧めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者からは畑作業、編み物、縫い物、調理などの家事などを教わる。利用者はお世話をしてもらっているという意識が非常に強く、職員を「先生」と呼ぶときもあるが、職員としては嫁や孫として接している。家族ではなく、共同で暮らしている仲間ではあるが、家族のような役割りを果たしたいと考えている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用の前には管理者とケアマネジャーが訪問面接し、医療情報、利用している介護保険サービスの情報等の利用者の基本情報の収集と意向の聞き取りをしている。入居されたらアセスメントをとっている。簡単な生活歴と「したいこと」「うれしいこと」等は記録に残されている。良い介護計画のためにはさらに詳しい生活歴が期待される。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を踏まえ、アセスメント情報をもとに、利用が始まって職員が観察をしていくなかでの職員意見をもちよって介護計画を検討している。身体介護のみならず、毎日の生活の楽しみを入れた介護計画になっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアマネジャーがケース記録や観察を踏まえて、介護計画のモニタリングを毎月行っている。1人の利用者について3か月に1回カンファレンス会議を実施している。職員は意見を書いて提出し、それが会議の資料となっている。ケース記録は介護計画の項目に沿って書かれているが、観察や考察がなく、モニタリングの根拠が確認できない。	○	ケース記録には介護計画の項目にそって、実施したときには記録が残されている。実施したときの利用者の様子などを観察して記録すること、ケアの拒否などで実施できなかったときにはその考察を記録することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性と生かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理容店や美容院へは家族に同行をお願いしている。近くにある同法人のグループホームとは利用者同士が交流しており、行事を一緒にしたり、マンション形式なので、訪問することが楽しみである。また近くにある同法人のデイサービスから看護師が毎週来訪し、医療面の支援をしてくれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の定期的な受診は家族をお願いしているが、認知症についての受診には同行している。家族にはホームでの状況を文書で渡し、また医師からの診察結果を報告を受け、文書でもらう場合もある。認知症については専門医を紹介している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしての明文化された方針はない。利用者の重度化のなかでどのように対応していくのか、検討中である。特養の申込をしている家族もいる。職員にはターミナルケアを実施するについての不安が大きい。	○	職員同士が十分話し合っ、重度化やターミナルケアについてのホームとしての方針を決め、明文化するとともに、利用者や家族にも説明しておくことが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレや居室も、中から施錠できるようになっている。トイレ誘導などの声かけは十分注意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよその日課は決まっているが、起床も就寝も利用者の自由である。早い人は朝4時ごろに目覚める。夜の就寝も7時くらいから寝る人もいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は毎日利用者と一緒に立てている。食材は生協の共同購入を利用しており、足りない分は近くのスーパーや朝市などに買い物に行っている。お米をといだり、野菜を切ったり、盛り付けたり、利用者ができることをしている。クリスマス会にはすきやき、水炊き、おでんなどの鍋料理を楽しんでいる。おすしやお弁当の出前をとることもある。ときには外食にも出かける。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	家庭風呂より少し広めの浴室で、窓が大きく、明るい。お風呂は毎日準備しており、時間は決めずに、利用者の入りたい気持ちにあわせて支援している。朝風呂がいいと、5時ごろに入る人もいる。マンツーマンの同性介助である。ゆず湯は喜ばれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	室内の新聞をまとめたり、メモ用紙をつくる利用者がある。畑作業や生け花を生けたり、お礼状を書く役割の人もある。生協の注文の合計をそろばんでいれる人もいる。折り紙、貼り絵、歌、風船バレーなどを楽しんでいる。プリンターに花の苗を植えるのも楽しみである。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩には毎日出かけている。買い物も歩いて行ったり、車で少し遠くまで行っている。宇治川などの桜、青谷の梅、太陽ヶ丘や近くのお寺の紅葉狩りなど、季節の花見にも出かけている。個別外出にも力を入れており、結婚式をあげた神社や、以前住んでいた家に同行している。意欲のなかった人が毎朝伊勢田神社にお参りに行くことを日課にするまでに回復した例もある。肉が好きな人をステーキの外食に連れて行ったりもする。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門扉、玄関ドア、勝手口等、日中はすべて施錠されていない。縁側から庭に出ることもできる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消火器、感知器、防火管理者等を備え、消防計画を作成している。避難訓練は夜間想定も含めて実施し、地域の人の参加がある訓練も実施している。今後は備蓄の準備と、災害時における地域の人との協力の話し合いが期待される。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養バランスに注意して立てられている。一人ひとりの食事摂取量の記録はないが、変化のあったときには支援経過に記録されている。また水分摂取量について、注意の必要な利用者については記録に残している。	○	毎日の利用者ごとの食事摂取量と水分摂取量の記録を残すこと、献立のカロリー値の計算と栄養バランスについての点検記録を残すことが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	門扉を入ると左手に庭や畑があり、立派な松の木がある。和風民家を改修しており、玄関土間から廊下が伸び、居間、食堂、居室などがある。玄関の下駄箱の上にひょうたんが飾られている。食堂兼台所は洋間で、横に縁側つきの大きな和室がある。床の間に日本画の額と人形ケースが置かれている。違い棚にも陶製の置物が飾られている。廊下の片隅には観葉植物の鉢があり、やわらかい雰囲気を出している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室部分は新築しており、洋間である。備え付けの家具は一切なく、利用者の馴染みものを持ち込んでもらっている。低床ベッド、たんす、衣装ケース、鏡台などを持ち込み、利用者ごとに室内をレイアウトしている。利用者は自分の俳句撰や書を壁に貼り、家族の写真を飾っている。		